



# 寄居ロータリークラブ

## YORII ROTARY CLUB

# 会報



R.I.会長  
ジェニファーE.ジョーンズ  
第2570地区ガバナー  
村田 貴紀  
第4グループガバナー補佐  
金井 福則



令和4年9月14日(水)

会場 料亭 園

## 第2670回例会

司会 橋本 則彦 (SAA)

点鐘 津久井 大雄会長 (12:30)

ソング 奉仕の理想

お客様

元寄居中学校校長 鴻野年伸様

### 1. 会長の時間

津久井 大雄さん

皆さん、こんにちは。昨日、ヤクルトの村上が55本目のホームランを打ちました。王貞治さんに並んだということで、また素晴らしい記録が生まれたなと思います。先ほどお話ししましたように、本日は卓話者といたしまして、鴻野年伸先生をお招きいたしました。私がPTAをやっているとき寄居中学校が荒れていまして、そのときに鴻野年伸校長が赴任されました。また私がPTA会長のとき、また順番といたしまして連合のPTA会長のときにもいろいろとお世話になりました。その節は本当にありがとうございました。また寄居町連合PTA会長も任されて、家庭教育委員会では同級生の馬場俊英君もPTA主催で、寄居で講演をしてもらいました。その時は、ロータリーの皆様にもお世話になりました。本当にありがとうございました。

2570地区の行事として、今月の地区大会、来月のポリオ撲滅キャンペーンには、会長幹事、そして地区役員の皆様方と参加してまいります。また、来月に行なわれる会長幹事会に松本幹事と行ってまいります。地区のほうですが、正直、出だしがいまいちだったということがありましたが、ここにきてどうにかスムーズに動き始めてきたような気がしています。

そんな中、次年度は深谷ロータリークラブの高丹さんがガバナーになります。深谷クラブはもう動き始めています。寄居も先々を見て、今後活動していかなければいけないと思いますので、皆様方ご協力のほどよろしくお願いいたします。

先日、鈴木さんが温泉の話をしていました。先ほど聞きましたら、別所温泉に行かれたということで、私も妻と二人で温泉に行ってまいりました。塩原温泉の秘湯元湯に

大出館という温泉宿があります。炭の湯というのをテレビでやっていたのを見て、ちょっと気になっていました。本当に真っ黒い墨汁のようなお湯でした。リュウマチなどに効くということで、妻と二人でドライブを兼ねて行ってまいりました。そこは2時から女湯でした。それから男風呂、外湯があり、草津のような真っ白いお湯で凄い硫黄の匂いがして、いいお湯でした。何が言いたいかというオチがありまして。洗い場には松本幹事くらいの年齢の人が何人かいて、私よりも先輩にあたる人が何人かお風呂に入っていました。70歳くらいの人に「おう、入れ」と声をかけられました。それまで気が付かなかったのですが、女性がいることに気が付いて驚きました。後ろ姿しか見ませんでしたが、55歳で初の混浴を経験しました。これがオチなのですが、日本にも、こういうのどこかところがある。日本も捨てたもんじゃないと思いました。

本日は鴻野先生をお迎えしております。今月は「基本的教育月間/識字率向上月間」となっております。鴻野先生からいろいろなエピソード等、また教育についてのお話しが聞けるとと思います。鴻野先生、よろしく願いいたします。

会長の時間は以上となります。

### 2. 幹事報告

松本 則之さん

皆さん、こんにちは。本日の幹事報告です。今日の例会はお昼ですが園さん。再来週、月末の水曜日(28日)は



夜間なのですが、場所はシティプラザ寄居で行ないます。ねじれ例会が生じている状態でございます。夜間の例会ですが、夕方6時に点鐘し7時に終了です。お食事はお土産としてお持ち帰りいただくという形式で行なう予定となっております。

また、寄居ロータリークラブのホームページが最新のものとなっております。最近の会報もすべて載っております。

それと、今日の例会が園さんで行なわれるという、例会場変更のお知らせもインフォメーションのところに載っております。皆さん、ぜひホームページをチェックしてみてください。

以上で幹事報告を終わりにいたします。

### 3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会 小宮 俊光さん

皆さん、こんにちは。出席報告の前に、鴻野先生、本日はありがとうございます。卓話楽しみにしております。

それと、先だってメーキャップに行ってきましたら、その会長の時間にロータリークラブに入会した20の理由を項目にしたお話がありました。最初は友情。次がビジネス。三番目がリーダーシップという三つを言っていました。やはり、誘う側の熱心さにほだされて入会する。あるいは入会することによって、ビジネスに役立てたい。当然仕事に繋がたい。当然のことですね。それと、ロータリーというのは職業人、あるいは経営者の集まりということで専門職のかたがたくさんいるのでリーダーシップを磨きたい。これが上位3つの挙がっておりました。ですから、そういうことで皆さんもそんな感じで入会しているのかなと思いつながりながら聞いておりました。

それでは出席報告をいたします。

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
9月14日	32	3	29	0	90.62%
9月7日の修正出席率					87.50%

(2) ニコニコボックス委員会 松本 幸男さん

津久井大雄さん 鴻野校長、本日は卓話よろしくお願ひいたします。本日、PTA関係者もたくさんいます。後日、一杯行きましょう。

松本則之さん 鴻野先生、本日は卓話楽しみにしています。園さん、美味しかったです！ありがとうございます。

赤坂匠康さん 鴻野校長先生、お元気なお姿を拝見できてとても嬉しいです。娘が在学中は大変お世話になりありがとうございます。娘はNHK岡山放送局で元気に頑張っています。先生のご指導のおかげです。本当にありがとうございます！

荻野幸一さん 元寄居中学校校長鴻野年伸様、卓話ありがとうございます。楽しみです。

佐橋正行さん 鴻野年伸様、ようこそ寄居RCへ。卓話よろしくお願ひします。

吉野泰久さん 前後左右の方々がBOX表に記入してる。俺も何となく釣られた！

浅見克一さん 先生の卓話、楽しみにしております。

山口正彦さん 鴻野先生、お久しぶりです。今日は卓話ありがとうございます。昔のPTAの気持ちに戻って聞かせていただきます。

柴崎 正さん 鴻野年伸様、卓話よろしくお願ひします。

柴崎 正さん 前回欠席のため。

清水浩一さん 鴻野様、ようこそ寄居RCへ。卓話楽しみです。

清水浩一さん 前回欠席のため。

加藤祐司さん 鴻野年伸様、ようこそ寄居ロータリークラブへ。本日の卓話楽しみにしております。

加藤祐司さん 直前のご案内で恐縮です。津久井会長の許可を得て、配布させていただきました。少し遠いのですが、書道に興味のある方はぜひお越しください。

加藤祐司さん 前例会、欠席のため。

安齋治一郎さん 鴻野先生、寄居ロータリーによろしくお願ひします。

小宮俊光さん 鴻野年伸先生、ようこそ寄居RCへ。卓話楽しみにしています。

荻野真仁さん 鴻野年伸先生、本日はよろしくお願ひいたします。勉強させていただきます。

橋本則彦さん 鴻野先生、ようこそ寄居ロータリークラブへ。卓話楽しみです。

下条 誠さん 鴻野様、卓話楽しみです。本日もよろしくお願ひします。

吉田正博さん こんにちは!! 本日の鴻野先生の卓話楽しみにしております。ここのところ、少し感染者が減少しており、いよいよ来月から旅行支援の全国割が開始するようです。少しでも観光事業が活発になればと期待しています。

森田淳一さん 鴻野先生ようこそ寄居ロータリークラブへ。本日の卓話楽しみにしています。

吉田昌弘さん 鴻野先生の卓話と園さんの料理、楽しみにまいりました。本日もよろしくお願ひいたします。

小鮎哲夫さん 園さん、いつもお世話になります。本日もよろしくお願ひします。

高田 徹さん 鴻野校長先生、ようこそ寄居ロータリーへ!! 本日の卓話楽しみです!! よろしくお願ひいたします。

権田 功さん まだまだ残暑が厳しいですが、健康に留意し頑張りましょう。

高倉隆綱さん 鴻野さん、本日の卓話楽しみにしております。本日はよろしくお願ひいたします。

豊田康業さん 鴻野先生、本日の卓話楽しみにしております。

ます。よろしくお願いします。

松本幸男さん 鴻野先生お久しぶりです!! お元気そうで安心しました。本日の卓話、勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。

### 津久井大雄会長

先ほどニコニコからも話しができましたように、本当に鴻野校長にはいろいろとお世話になりました。わたくし津久井、そして赤坂さん、松本幸男さんが、鴻野先生が現役だったときにPTA会長等でいろいろとお世話になりました。そして今、城南中学校のPTA会長の森田さんがいらっしゃいます。また、PTAのOBといたしまして、PTAの県Pの会長もやられた荻野さん、そして、町Pの山口さん、また豊田さん、そして吉田正博さんと吉田昌弘さん、高田さん、そして鈴木さんと、ロータリーで言えば約11人(会員数の1/3)のメンバーがPTAに携わっています。

簡単ではございますが、鴻野年伸先生のプロフィールを発表いたします。最初に深谷中学校で教職をスタートしました。そのあと、川本中、江南中、本庄中学校等を経て、深谷市教育委員会、埼玉県教育委員会、そのあと寄居に戻りまして、男衾中の教頭先生、そして同中学校の校長先生、そして寄居町教育委員会、最後に寄居中学校の校長を歴任されました。また、寄居中の校長時代には、寄居町、熊谷市、深谷市の小中学校で組織する大里地方校長会の会長、埼玉県道徳教育研究会の会長も歴任されました。現在は、小中学校とはちょっと離れて、深谷市の幼稚園で子どもたちにいろいろなことを教えているそうです。鴻野先生、今日は時間もたっぷりございます。私も、会長になつたらぜひ一番にこの会にお呼びして、話しを聞こうと思っていましたので、楽しみにしております。よろしくお願いします。

### 「卓話」 元寄居中学校校長 鴻野 利伸さん

皆さん、こんにちは。ロータリークラブというところに初めて出させていただきましたが、素晴らしい会だと思っております。ドキドキしています。また、存じ上げる多くの皆様、そして、今日からご縁をいただく皆様、鴻野利伸でございます。どうぞよろしくお願いいたします。先ほど、何回も私の名前を言っただき、本当に嬉しく思っております。前寄居中学校の校長でお世話になりました鴻野利伸と申します。よろしくお願いします。

本日は、20分間くらい話しをせよということで、津久井会長様からお話しをいただきましたので、もう喜んで駆けつけてきた次第でございます。津久井会長さんからのお話しというのは「はい」と「Yes」の世界ですので、こうしてまかり越した次第でございます。会長さんの格



調高い挨拶に比べると、私はどうもレベルがぐっと下がってしまうようなお話ししかできませんが、ご容赦いただければと思います。

私は、基本的には中学校で仕事をさせていただいていたのですが、現在は小さな幼稚園児を対象に園長をやらせていただいております。そんなわけで、今の教育といってもなかなかうまくポイントがつかめるかわからないですが、また、皆さんがよくご存じのことを申し上げますので、大変恥ずかしいのですがよろしくお願いいたします。

学力向上と令和の教育。令和の寄居町、埼玉県、日本を支える真の学力ということで、私が今感じていることなどを交えてお話しできればよろしいのかなと思います。今、寄居町をはじめ、全国の小学校、中学校の児童生徒は、一人一台のタブレット端末を持っています。貸し出されていて貸与されています。家に持ち帰って、インターネットで授業を受ける、いわゆるオンライン授業というのが行なわれております。国の施策ですから、高等学校や大学でも行っているはずで、必要に応じて、このオンライン授業の実施ですので、実際の学校ごとには多少の差があるかもしれません。なぜこうなっているかという、また記憶に新しいところかと思いますが、コロナ禍で令和2年度の4月と5月に全国の学校が休校になりました。学校に子どもがいない2ヵ月間が続いたわけですね。教育の重要性から考えて、前代未聞、空前絶後のことであろうと思います。また、完全に学校を休校にはしないものの、分散登校といまして、例えば、今日は1、3、5年生が学校へ行く日。明日は2、4、6年生が学校へ行く日などと、分けて学校へいくということがあったかと思えます。これからはコロナ禍の状況によっては、どんな形になるかわかりませんが、インターネットで繋がっているコンピュータの端末を使って家でも勉強ができる。学校の先生の授業が家で受けられる。学校の先生が苦勞して、自分の授業を録画して、それを実況中継のような形で配信するということが計画され、そういう授業が実施されています。これは、GIGAスクール構想といまして、大きな計画によるものです。

GIGAスクール構想という言葉を目にしたかたがおありだと思います。よくご承知いただいているかたもいらっしゃいますし、初めて聞くというかたもいらっしゃるかと思えます。どのくらい大きな計画かといまして、これは令和の日本型学校教育の推進という国の教育施策の一つであります。その中心となっている施策の一つです。GIGAスクール構想ですので、コンピュータの端末を使って勉強する、家でも学校にいるのと同じように勉強できる。うちの子もあるいはうちの孫も家でやっている、あるいはやっていたというかたもいらっしゃると思います。何ギガくらい使って勉強するのかしら?などというふうには、ギガですから、スマホのギガかなというふうにとらえられがちですが、ここはかなり違っています。正しくは、誰一人として取り残すことのない教育を推進しなくては

ならない。そのための極めて有効な手段として計画されたのが、このGIGAスクール構想であります。GIGAというのは単語の頭文字をとった読み方で、Global and Innovation Gateway for Allです。すべての人にグローバルで革新的な入口を提供する構想です。もっと具体的に言うと、児童生徒向け一人一台端末等、高速大容量通信ネットワークを一体的に整備し多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された、創造性を育む教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想です。こんな教育が、寄居町をはじめ全国の学校で進められています。取り残されないようにしないと、頑張る子がしっかり頑張ってくれればいいのではというのは、実は通じなくなっている。それが教育の世界だと思えます。

突然ですが、咸臨丸などに乗って外国へ行ったのは、どんな人たちだったのでしょうか。何をしてきましたか。当時の最先端、日本にはない知識や技術などを学び、日本に伝え広めました。そして、勝海舟や福沢諭吉などから外国のことを、最先端を知っている人から学び、社会を維持発展させ、そのことによって自分も豊かな人生を得ていたということが、しばらく続いていました。まして、日本経済が右肩上がりときは、まさにこの発想で十分にやっていたし、乗り切ることもできました。そんなことを思っております。今も多少これはあるかもしれませんが、ところが、むしろ咸臨丸から輸入された考えではなく、答えは存在しないというか、だれもわからない答えをどう導きだしていくのか。また、進むべき道をどう見出していくのかという時代になっているということでしょうか。だれも答えがわからない。だれかに聞くこともできない。今はまだ答えが存在しない。こういうものを導き出していかなければなりません。

原発について。放射性物質を大量に含む原発の廃炉への行程はだれに聞いても教えてもらえません。福沢諭吉さんが生きていらしたとして、聞いても教えてもらえません。だれも教えられません。ウクライナのチェルノブイリ原発にかかわる方々は、多少の蓄積はあるようですが、簡単にそのまま教えてもらえば済むような課題ではありません。地球温暖化、少子化。数がどんどん減ってってしまう子どもたちの力を最大限まで伸ばして、すべての子どもたちに持てる力を発揮していただかないと、日本国の水準が維持発展できないどころか、国力の低下が避けられないということになります。これを考えると、GIGAスクール構想はまさに令和の日本型学校教育推進にとって避けることのできない大切な構想であります。「いいか、ここはテストに出るから、よく覚えておけ。」部活のあとに〇〇ちゃんと話しをしていて遅れてしまいました。勉強する時間が少なくなりました。」というときに、「友だちと話している暇があったら、単語の一つでもよけいに覚えろ。」といった、今では見かけなくなった教室の風景がなんだか懐かしいなあとってしまうのは私だけでしょか。今でも言うかもしれません。ですが、テ

ストに出るから覚えておけという、その記憶力を頼ったテストで満点を取ったとしても、これからの世の中への対応ができるかという、ちょっとまた違うかなと思えます。

実は、そういう授業を私も随分と長い間やってきました。でも、そのころのテストに出ている問題は、今ではネットで調べればだれでもわかります。単語の一つを余計に覚えたとしても、令和の時代にどれだけ影響力があるでしょうか。先ほど申し上げましたが、知識は多いに越したことはありません。決して、知識を多くすることを否定するわけではないのですが、単語一つ覚えて、1点よけいに取るという学力よりも、もっと大切なものがあると考える必要があると思えます。単語一つ余計に覚えたことで人生を左右するほどの大きなことは、だれかがあるいは昔の人が知っていて、教えてもらうことで解決するという時代の話かもしれません。今は、だれかに教えてもらうことで解決する現代の課題はほとんどありません。大きな課題ほど、だれも答えを知らないことがほとんどです。だから、だれも答えを知らないこの課題に対して、大勢の人、仲間が協力して共に協力し合って、知恵を出し合い、意見を交換し、叡智を結集して新たな解決策を見つけ出していかなければならない時代が来ています。知識や技術を自分の手元で囲い込んでしまい、門外不出の秘伝という形で凝り固まってしまっていると、目先の利益は多少確保できるかもしれませんが、その技術はどんなに素晴らしく、いいものであってもいずれ絶えてしまうと思えます。仮に宗家伝来の品とか、一子相伝で伝わっていくことができたとしても、多くの人に考えていただき改良を加えてもらった技術や、粘り強く頑張りぬいたグループが生み出す革新的な技術や発見、発明には打ち勝つことはできません。仲間と共に一つのことに向かって突き進む姿勢や、その人間性。あいつ粘り強いんだよな…とか、不思議とあいつのことは助けたくなるんだよな…という人となり。あの人と共に戦いたい、と思える人に成長していつてほしいし、そういう人材を育成しなければならぬのかもしれない。単語の一つ余計に覚える暇があったら、部活が終わったあと友だちと喋ってこい。仲間づくりをしてこい。コミュニケーション能力を高めてこい。こういうことになるのかもしれない。大勢の仲間が共同して共に助け合って知恵を出し合い、意見を交換し、叡智を結集して新たな解決策を見つけ出していく。そんな時代が来ています。そこを生き抜いていくための教育が今、寄居町をはじめ全国の学校で行なわれています。IQで図ることのできない、友だちと協力して作業するとか、自分の力でやり遂げる、自分の気持ちをコントロールするなどといったことを非認知能力といいます。こういうことについてのお話は20分という時間ですと足りませんので省略させていただきます。今申し上げましたが、現代の課題はだれも答えを知らない、だれもわからない答えを導き出すには、すべての子どもたちが持て

る力を発揮する必要があります。子どもの数が少なくなります。国民の数が少なくなります。ここはテストに出るからよく覚えておけばはダメなのです。部活のあと話し込んでいました。話し込む暇があったら単語の一つも余計に覚えろ。教えてもらうことで解決する現代の課題はほとんどない。一子相伝より不思議と助けたくなる、一緒に仕事をしたくなる、粘り強さに感服する。ですから、単語の一つ覚える暇があったら、じっくり話し込んでいくなるのかもしれない。

さて、時代の流れを読む場合、必ず次の次を、またその先を読むことになると思います。ここは大事なところで。さっきは単語の一つ余計に覚えることは必要ないといいました。ですが、単語の一つ二つ余計に覚え、つまり知識もしっかりとあり、よく学んだ学生たちが協力して、叡智を結集して、新たな解決策を見つけるために未来を考え、未来の寄居町のあるべき姿を、埼玉県のあるべき姿を、日本国のあるべき姿を見出していったときのことを考えると、やはりこれはわくわくしてきませんか。学ぶべきことはたくさん学び、そういう人たちが協力し合う。これが、令和の学びなのではないでしょうか。目新しいようなことをあえて申し上げましたが、仲間や友だちと仲良くして、互いに切磋琢磨して、協力して知恵を出し合っていくということは、今までも私たち日本人が大切にしてきたことにほかなりませんし、今でもやっていることです。

「自分だけがうまい汁を吸う」これはダメです。さすがに今は、競争して、相手を蹴落として、自分だけがうまい汁を吸おうとする時代ではなくなってきているようです。改めて、日本型教育。誰一人取り残すことなく。これがキーワードだと思います。学び、鍛え、大きく育てていただく。子どもたちには大きく育てていただくのです。子どもたちを大きく育てるのではなくて、子どもたちに育ててもらわなくてはなりません。子どもたちに大きく育てていただき、共に世の中を支えていただくための人材を育成する。こういう教育が今、確実に始まっています。

ご清聴ありがとうございました。

### 津久井大雄会長

鴻野先生ありがとうございました。これは、もう授業といえるのではないのでしょうか。改めて、自分たちも欠けているところがあったと思う次第でございます。皆様方も勉強になったのではないかと思います。もう一度、鴻野先生に大きな拍手をお願いいたします。本当にありがとうございました。

点鐘 会長 津久井 大雄さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ  
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2022.9.14

会 長 津久井大雄 会報・雑誌委員長 加藤 祐司

No. 7

幹 事 松本 則之 副委員長 吉田 昌弘

・例会日時 毎週（水）12:30～13:30

・例 会 場 ホテルシティプラザ寄居

・住 所 寄居町大字桜沢888-1

・TEL 048（581）2468

・FAX 048（581）3530